

知多半田駅前広場改修基本設計案について



2024年：リニューアル基本構想

<知多半田駅東ロータリーの将来イメージ>

みんなの日常的な居場所

+

いろいろな企画に使いやすい広場

「2. 検討プロセス」では、周辺地域で暮らす人や働く人、駅やクラシティ等の周辺施設の利用者等にとって「日常的な居場所」となることを望む意見が多く得られた。特に、特定のターゲットを設定するのではなく、子ども、学生、子育て世代、高齢者等、世代や性別を問わず「みんな」にとって居心地の良い場所となることが重要視されていた。eコマース（インターネットを通じた買い物）が社会に浸透する中、「買い物」は中心市街地にでかける動機として相対的に弱くなっており、近年まちづくりにおいても時間価値を重視した「プレイスメイキング（＝居場所づくり）」が主要なテーマとなっている。検討プロセスで得られた意見はこうした時代性とも整合していた。

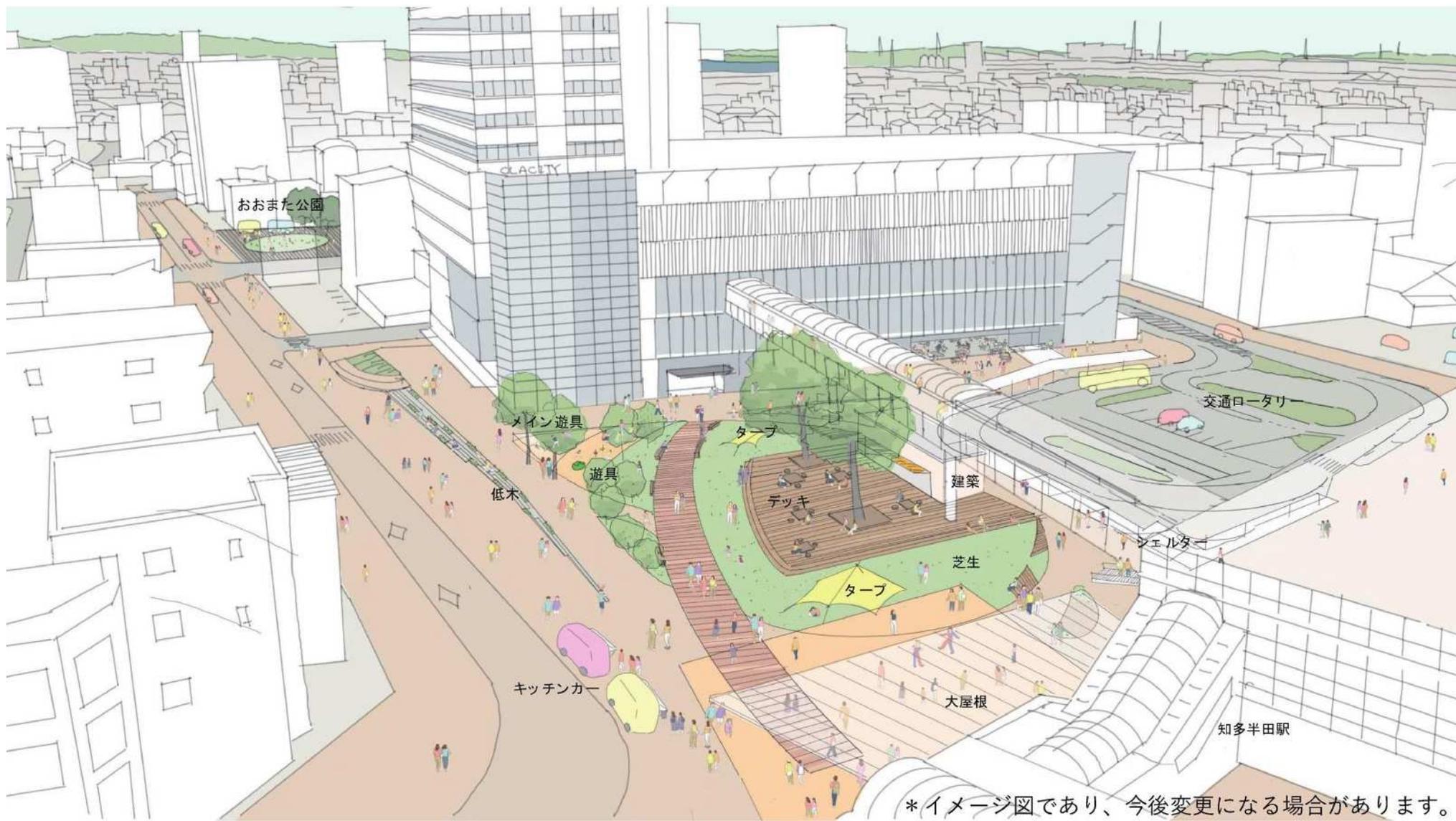
また、これまでに市民によって取り組まれてきた「HANDA STREET TERRACE」や「ランブリングフェスティバル」等の企画イベントがより実施しやすい広場となることを求める意見も多かった。マルシェや子どもの遊び場づくり等の暮らしを楽しく、豊かにする様々な取り組みが東ロータリーや隣接する泉線で実施され、賑わいを創出し、周辺に波及することは、半田市が進める中心市街地活性化事業の方向性とも整合している。

「将来イメージ」の実現に向けて

【整備方針】

- ①交通安全性と乗り換え利便性に配慮しながら交通ロータリーをコンパクトにし、交流広場を可能な限り確保する
- ②交流広場はあらゆる人の「日常的な居場所」となるように整備する
- ③交流広場はマルシェや子どもの遊び場づくり等の様々な取組で使いやすいように整備する
- ④市民や民間事業者等の「やりたい！」を支える持続的な管理運営の仕組みを公民連携で構築する

2024年：リニューアル基本構想



*イメージ図であり、今後変更になる場合があります。

知多半田駅東ロータリーリニューアル基本構想 (R7.2)

2025年度：基本設計の検討 (WS①)

第1回

知多半田駅前広場改修に向けた市民ワークショップ

テーマ 知多半田エリアを歩いて楽しく、居心地の良いまちにしよう！

よる開催

日時 令和7年7月30日(水) 19:00~21:00
 場所 クラシティ3F ホール
 参加人数 12名

あさ開催

日時 令和7年7月31日(木) 10:00~12:00
 場所 クラシティ3F 市民活動ルームABC
 参加人数 8名

流れ 趣旨・経緯の説明 ▶ フィールドワーク (知多半田駅～泉線～JR高架下)
 ▶ グループワーク ▶ グループ発表



知多半田駅前広場改修に向けた
市民ワークショップ

知多半田エリアを
 歩いて楽しく、
 居心地の良い
 まちにしよう！

ご都合の良い日時に！

夜の部 **7.30 水 19:00-21:00**
 昼の部 **7.31 木 10:00-12:00**

各開催日3日前までに
 下記フォームまたはメールにて
 メール sangyo@city.handa.lg.jp

会場 **クラシティ3階 市民交流センター**
 夜の部▶ホール 昼の部▶市民活動ルームABC

対象 知多半田駅前広場の改修に向けた取組に
 関わりたい方(市内外問わず)

定員 各回40名(先着順)
 参加費 無料

主 催：半田市 運 営：大日本ダイヤ・Tetor・地域力創造デザインセンター共同企業体
 (ワークショップ運営：一般社団法人地域力創造デザインセンター)
 問合せ：半田市民経済部 庶務課 ☎：0569-84-0634 ✉：sinpyo@city.handa.lg.jp

どんなワークショップ？ これまでの知多半田エリアの主な動き

令和6年度に市民の皆さんと決定した知多半田駅前広場の基本構想。令和9年度からの改修工事着手に向け、今年度は設計を進めています。この広場は知多半田エリアの新しい未来図に描かれた、セントラルパークの最重点です。設計にあたっては、広場だけでなく、周辺のまちづくりも視野に入れています。安全でより楽しく、歩いていて楽しくなるまち(ウォーカブルなまち)づくりは民と公の共創。役割分担が実現の鍵です。知多半田エリアをもっと魅力的にしていこうという皆さんと一緒に、実験を資格としたウォーカブルなまちを考えるワークショップを開催します。是非ご参加下さい。

これまでの振り返り

- 1 これまでの振り返り
- 2 ウォーカブルなまちとは？ (デザイン)
- 3 フィールドワーク (夜間/夕方/昼間)
- 4 グループワーク・意見共有

ファシリテーター
 一般社団法人地域力創造デザインセンター
 高尾 史志(たがおだし)氏

今後の予定

- 10月頃 今回のワークショップの意見や、知多半田駅前広場の基本設計案をブラッシュアップするワークショップを予定しています。詳細が決まり次第案内しますので、是非ご参加ください。
- 12月頃 知多半田駅前広場の基本設計案の原則と意見集約の場を設定する予定です。
- 2月頃 報告会を予定しています。

※令和7年7月1日時点の予定です。最終状況によって開催時期や内容が変更となる場合があります。

主 催：半田市 運 営：大日本ダイヤ・Tetor・地域力創造デザインセンター共同企業体
 (ワークショップ運営：一般社団法人地域力創造デザインセンター)
 問合せ：半田市民経済部 庶務課 ☎：0569-84-0634 ✉：sinpyo@city.handa.lg.jp

2025年度：基本設計の検討 (WS②)

■第2回市民ワークショップの概要

テーマ 知多半田駅前広場の基本計画案をブラッシュアップしよう！
 日時 令和7年12月3日(水) 19:00~21:00
 場所 クラシティ3Fホール
 参加人数 19名



知多半田駅前広場改修に向けた
市民ワークショップ

知多半田駅前広場の 基本設計案を ブラッシュアップしよう!

令和7年
12.3水 19:00-21:00

会場 クラシティ3階
南園交流センターホール(半田市小浜町155-3)

対象 知多半田駅前広場の改修に向けた取組に関わりたい方(市内外問わず)

申し込み
各開催日3日前までに
下記フォームまたはメールにて
メール sangyo@city.handa.lg.jp

定員 40名(先着順)
参加費 無料

主催・問合せ 半田市市民経済部 産業課 ☎0599-84-0634 ✉sangyo@city.handa.lg.jp
 運営 大日本デザイン/Tetor/地域力創造デザインセンター 共同企画
 (ワークショップ運営:一般社団法人地域力創造デザインセンター)

どんなワークショップ?

これまでの知多半田エリアの主な動き

令和6年度に市民の方々とともに策定した「知多半田駅前広場の基本構想」。その基本構想をさらに進めるため、今年度は設計を進めています。今回は、その基本設計案を実際に「使う」点で検証・改善するためのワークショップを開催します。

はじめに設計案を確認しながら、利用者としてどのように広場を使うのかを具体的にイメージし、次に、より使いやすく快適な広場にするための改善アイデアを話し合います。

ふだん駅前を利用している方、これからのまちの拠点づくりに関心のある方など、どなたでも歓迎です。

“使う”の視点で、設計と一緒にブラッシュアップしてみませんか?

当日のワークショップの流れ

19:00 開会・趣意説明
 19:10 基本設計案の説明
 20:00 グループワーク(15分間)実施
 20:30 発表・振り返り
 21:00 閉会

ファシリテーター
 一般社団法人
 地域力創造デザインセンター
 高尾 忠志(たかおただし)氏

事前の準備
 ウェルカムボードをテーマに、実際にまち歩きしながら、具体的なアイデアを洗い出したい!

今後の予定
 アンケートや展示を通じて、地域の方々の意見を収集します

第2回市民ワークショップ提示案

①広場の全体像



②広場の使い方



市民ワークショップ(2025.12.3開催)で得られた主な意見

- ・シンボルは半田らしさが感じられるものにしてほしい(4)、シンボルは必要なのは・屋根やひさはあったほうがよい(2)、屋根は可動式がよい
- ・キッチンカーが出店できるスペースがほしい(2)
- ・発表やマルシェができるスペース、ピクニックできるスペースがほしい
- ・周辺店舗で購入したもので飲食物でビアガーデンのように使いたい
- ・水道、電気などがあるとよい
- ・外で勉強できる椅子、机、Wi-Fi(2)
- ・子供の遊び場スペースの再検討が必要→ふわふわドームが欲しい(3)、起伏のある遊び場もよい(2)
- ・段差にすわる工夫があるとよい
- ・ミストや日除けなど夏場の暑さ対策が必要(2)
- ・風除けがほしい

2025年度：基本設計の検討（B案の検討）

3 知多半田駅前広場改修事業の基本設計案 A案

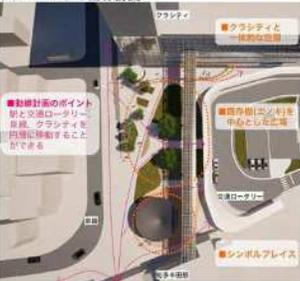
(2025.12.3市民WS提示案)

第1回知多半田駅前広場改修に向けた市民ワークショップ（2025.7.30開催）で得られた意見や制度や予算上の条件を踏まえて、構想案をより具体的に精査した基本設計の案（A案）を以下に示します。

①広場の全体像

広場としての一体感を確保しつつ、象徴となる「シンボルプレイス」を計画しました。「既存のエゾキを中心に様々な居場所を配置した緑豊かな空間」と「クラシティからあふれ出す空間」とともに、異なる役割を果たしながら、日常/イベント、市民/来訪者、時間帯によって異なる多様な使い方を受け止めます。

ゾーニングと動線計画



具体的な空間イメージ



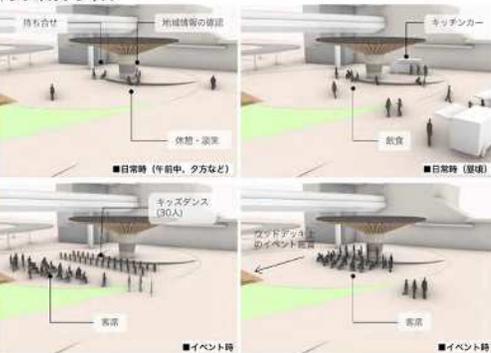
※夜間の景観や民心地に配慮した照明計画を実施します

②広場の使い方

既存樹を中心とした広場



シンボルプレイス



市民ワークショップ（2025.12.3開催）で得られた主な意見

- ・シンボルは半田らしさを感じられるものにしてほしい（4）、シンボルは必要ないのでは
- ・屋根やひしきはあったほうがいい（2）、屋根は可動式がよい
- ・キッチンカーが出店できるスペースがほしい（2）
- ・発表やマルシェができるスペース、ピクニックできるスペースがほしい
- ・周辺店舗で購入したもので飲食物でビアガーデンのように使いたい
- ・水道、電気などがあるとよい
- ・外で勉強できる椅子、机、Wi-Fi（2）
- ・子供の遊び場スペースの再検討が必要→ふわふわドームが欲しい（3）、起伏のある遊び場もよい（2）
- ・段差にすわれる工夫があるとよい
- ・ミストや日除けなど夏場の暑さ対策が必要（2）
- ・風除けがほしい

4 知多半田駅東口ロータリーの基本設計案 B案

第2回知多半田駅前広場改修に向けた市民ワークショップ（2025.12.3開催）で得られた意見などを踏まえて、修正検討した案（B案）を以下に示します。

①広場の全体像

駅側にイベント利用しやすい開業の空間を確保し、クラシティ側を子どもの遊び場となる起伏ある地形や小さな屋根「あずまや」のある空間とした計画です。舗装空間、既存樹を活用した緑豊かな空間、親子連れの方も過ごしやすい空間が、重なり合い、一体感のある広場を目指します。

ゾーニングと動線計画



具体的な空間イメージ



※夜間の景観や民心地に配慮した照明計画を実施します

②広場の使い方

子どもの遊び場空間



舗装空間



【ご意見をお聞かせください】

基本設計案（A案、B案）について「良いと思った点」「もっとこうなったらいいなと思った点」など、ご遠慮なくご意見いただければ幸いです。

下記のいずれかの方法をお願いします。

- ①お近くのスタッフにお話いただく
- ②意見シートに記入いただき意見募集箱に投函していただく
- ③右のQRコードにアクセスして入力していただく



いただいたご意見は基本設計案の最終案検討の参考にさせていただきます。なお、基本設計最終案は市民報告会（3月19日開催予定）および半田市ホームページで報告予定です。

2025年度：基本設計の検討（オープンハウス）

■オープンハウス

1) 市役所会場

日時：令和8年1月21日（水）10時～14時
場所：半田市役所 1階 市民ロビー

2) クラシティ会場

日時：令和8年1月22日（木）～24日（土）11時～13時、15時～17時
場所：クラシティ1階 にぎわいテラス

（※25日（日）～31日（土）7日無人でパネルと意見箱を設置）



■オープンハウスの結果概要

総回答数：128件

居住地・活動拠点

- 半田市内：97名（82.2%）
- 半田市外（通勤・通学等で利用）：19名（16.1%）
- その他：2名（1.7%）

年代構成

- 10代以下：4名（3.2%）
- 20代：19名（15.2%）
- 30代：12名（9.6%）
- 40代：22名（17.6%）
- 50代：13名（10.4%）
- 60代：33名（26.4%）
- 70代以上：22名（17.6%）

※回答があった118名の集計

※回答があった125名の集計

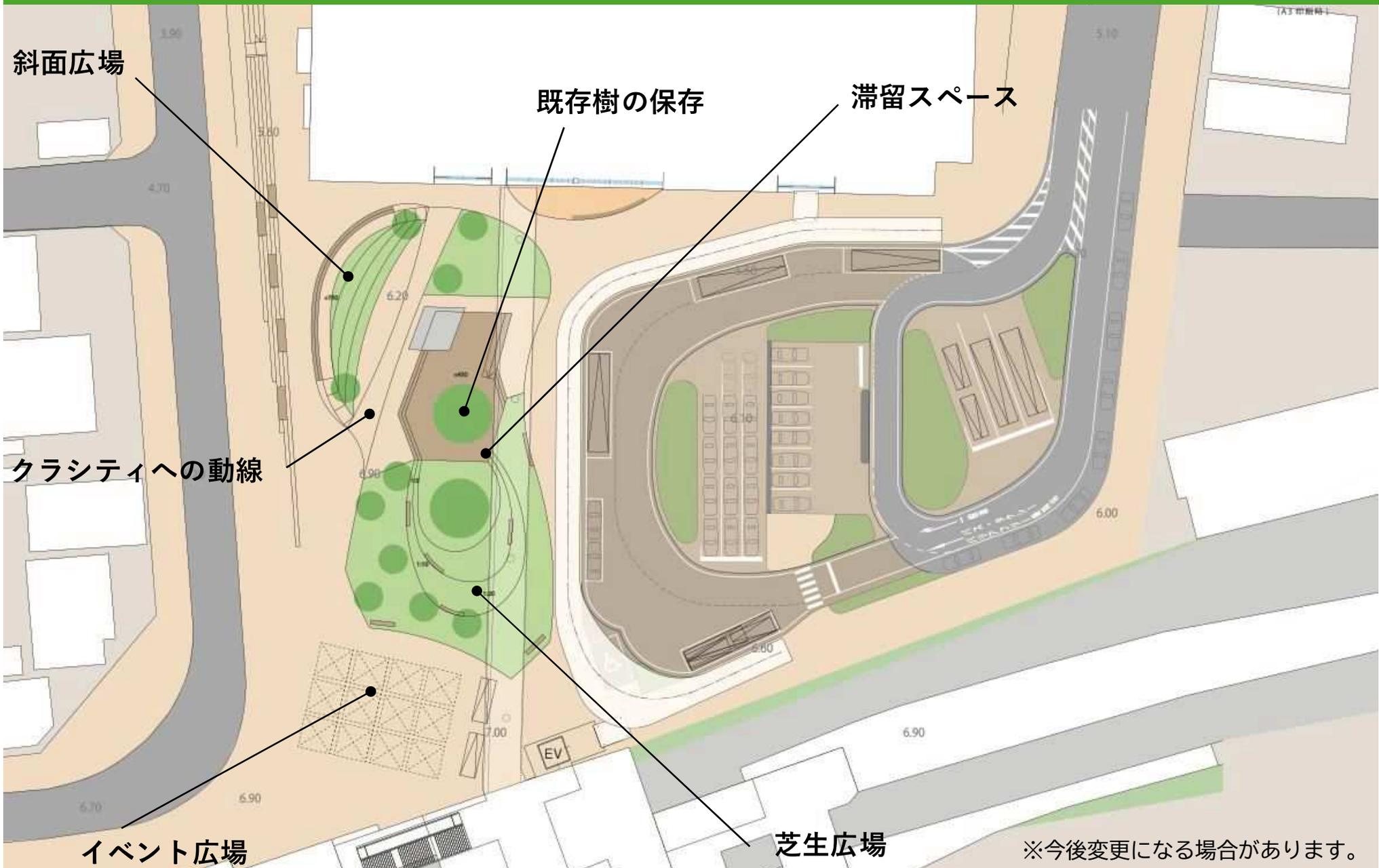
新しい広場での過ごし方

年代	キッチンカー利用	芝生や起伏で遊ぶ	エノキの下で休憩	イベント主催	駅・施設の移動	パラソル利用
10代以下	0	2	4	1	0	2
20代	11	1	4	3	0	5
30代	9	8	3	4	0	0
40代	9	6	4	9	6	6
50代	6	4	4	1	3	2
60代	12	9	9	7	10	6
70代以上	3	4	6	3	4	1
合計	50	34	34	28	23	22

各案への意見の傾向

	A案（12.3市民WS時点の案）	B案
ポジティブな意見	<p>広場の象徴性や、実用的な「日除け・雨よけ」としての機能を評価する意見が中心</p> <p>①シンボル・待ち合わせ場所としての評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 駅前の象徴として分かりやすく、待ち合わせ場所としての機能することを期待する意見（23件） <p>②屋根による日陰・雨よけの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏の暑さ対策としての「日陰」や、雨天時の安心感を重視する意見（13件） <p>③イベントやキッチンカーでの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋根があることで、路上ライブやキッチンカーなどのイベントが開催しやすくなるという期待（13件） <p>④休憩・座れる場所の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋根の下で座って過ごせる場所があることや、ほっとできる空間への評価（6件） <p>⑤情報発信（サイネージ等）の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタルサイネージ等による地域情報の集約や広告活用を肯定的に捉える意見（4件） 	<p>「子ども」「遊び」「自由度」といったキーワードが目立ち、活気ある広場のイメージが支持</p> <p>①子どもの遊び場・起伏の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 「子どもを遊ばせられる」「滑り台のような起伏が良い」といった、親子連れでの利用を期待する意見（34件） <p>②多目的な活用と自由度の高さ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「可動式のパラソルやテントで柔軟に使える」「イベントがしやすい」「使い方が流動的で良い」といった汎用性を評価する意見（16件） <p>③緑地（芝生）と自然の豊かさ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「緑が多くて日常的に滞留できそう」「芝生でくつろげる」といった、公園的な心地よさを評価する意見（9件） <p>④休憩スペース・ベンチの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 「起伏を利用したベンチが座りやすそう」「階段や傾斜が椅子になるのがメリット」といった、新しい居場所への期待（12件） <p>⑤開放感・視認性の良さ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「見通しが良い」「スッキリしている」といった、圧迫感のない広場の構成への肯定的な意見（3件）
ネガティブ・改善要望	<p>「固定物」を作ることによるコスト面や、自由度が下がる点への懸念が中心的。</p> <p>①コスト面や将来の維持管理への不安</p> <ul style="list-style-type: none"> 建設費用だけでなく、将来的なメンテナンス費用や、劣化時のイメージダウンを心配する意見（16件） <p>②屋根やシンボルの不要論・中途半端さ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「固定の屋根は不要」「ないほうが開放的」「中途半端ならやめたほうがいい」といった、設置そのものに慎重な意見（10件） <p>③活用方法の限定性・自由度の不足</p> <ul style="list-style-type: none"> 大きな固定物があることで「使い道が制限される」「もっとフレキシブルに使える空間にしてほしい」という要望（7件） <p>④子どもの遊び場の不足への懸念</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋根などの構造物にスペースを割くことで、「子どもが遊ぶ場所が減ってしまう」「遊ぶイメージが湧かない」という指摘（7件） <p>⑤半田らしさ（地域性）の追求</p> <ul style="list-style-type: none"> デザインが「半田らしくない」という意見や、「ごんぎつね」などの地域資源をより取り入れてほしいという提案（6件） 	<p>道路に近いことによる安全性や、仮設物の扱いを心配する意見</p> <p>①安全性への懸念（道路への飛び出し・怪我）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「道路が近く、子どもの飛び出しが危ない」「段差や起伏での怪我が心配」といった、安全対策（柵や手すりなど）を求める意見（9件） <p>②維持管理（メンテナンス）の手間</p> <ul style="list-style-type: none"> 「芝生の手入れが大変そう」「パラソルの出し入れや管理が煩わしいのでは」といった、運営側の負担を懸念する意見（6件） <p>③日陰（シェード）の不足と暑さ対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 「夏場はもっと大きなタープが必要」「パラソルだけでは日陰が足りない」といった、暑さへのさらなる対策を求める意見（7件） <p>④デザインの中途半端さ・寂しさ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「A案に比べるとシンボルがなくて寂しい」「中途半端だと税金の無駄と言われそう」といった、象徴性の欠如を指摘する意見（6件）
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 「駅前の顔としての分かりやすさ」が最大のメリットであるが、「多額のコストをかけて固定物を作るリスク」が最大の懸念点となっている。 「日陰は欲しいが、多額の費用やメンテナンスの負担は避けたい」という傾向が伺える 	<ul style="list-style-type: none"> 「日常的な子連れの利用」や「イベント利用」という具体的な活用イメージが市民に強く伝わっており、特に子育て世代からの支持が厚いのが特徴です。 一方で、「道路に面した遊び場の安全性」や「天然芝・パラソルの管理体制」をどうクリアするか、実設計における重要な鍵となりそうです。

基本設計案



基本設計案・イメージパース

<イベント時>

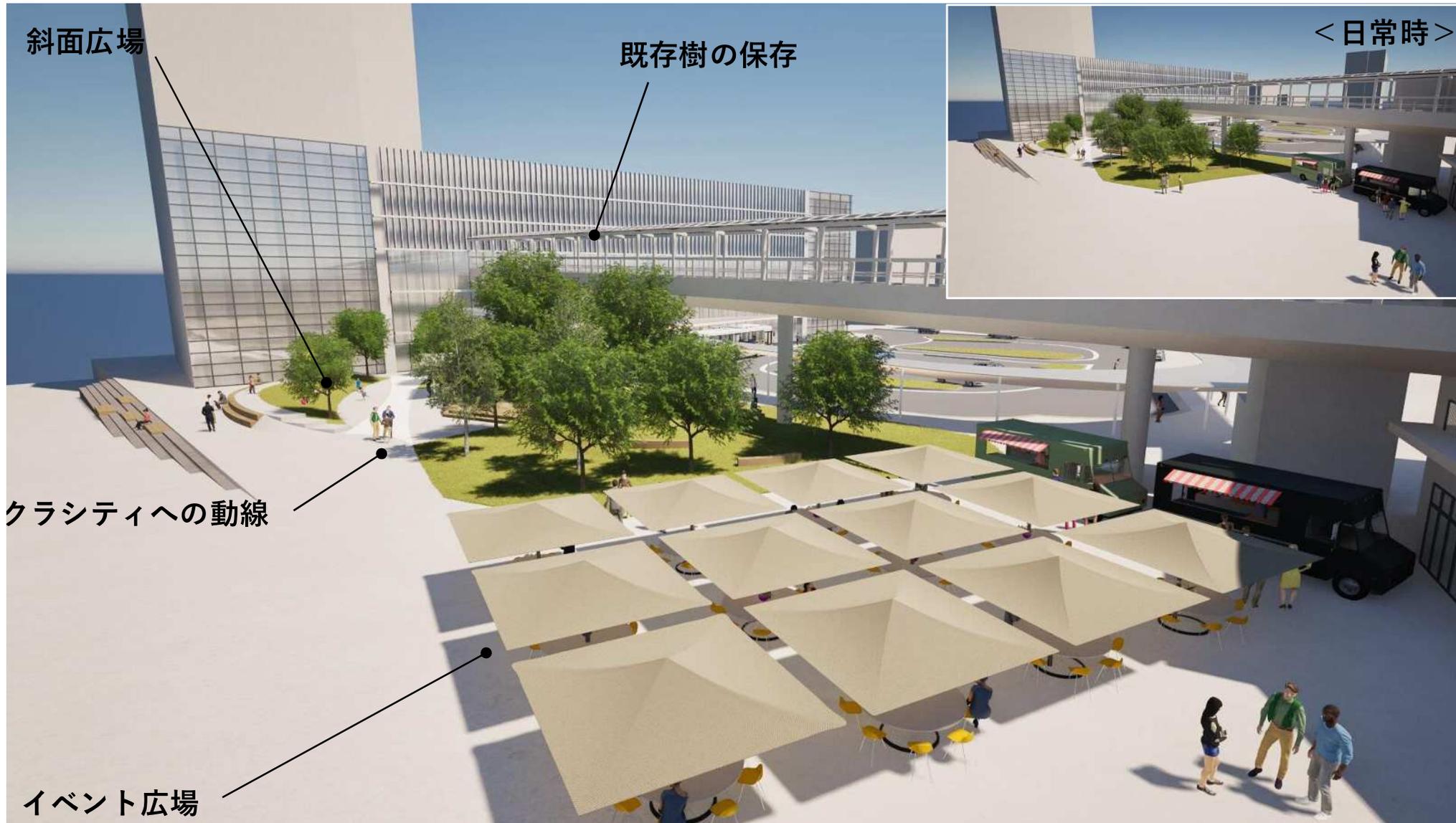
斜面広場

既存樹の保存

クラシティへの動線

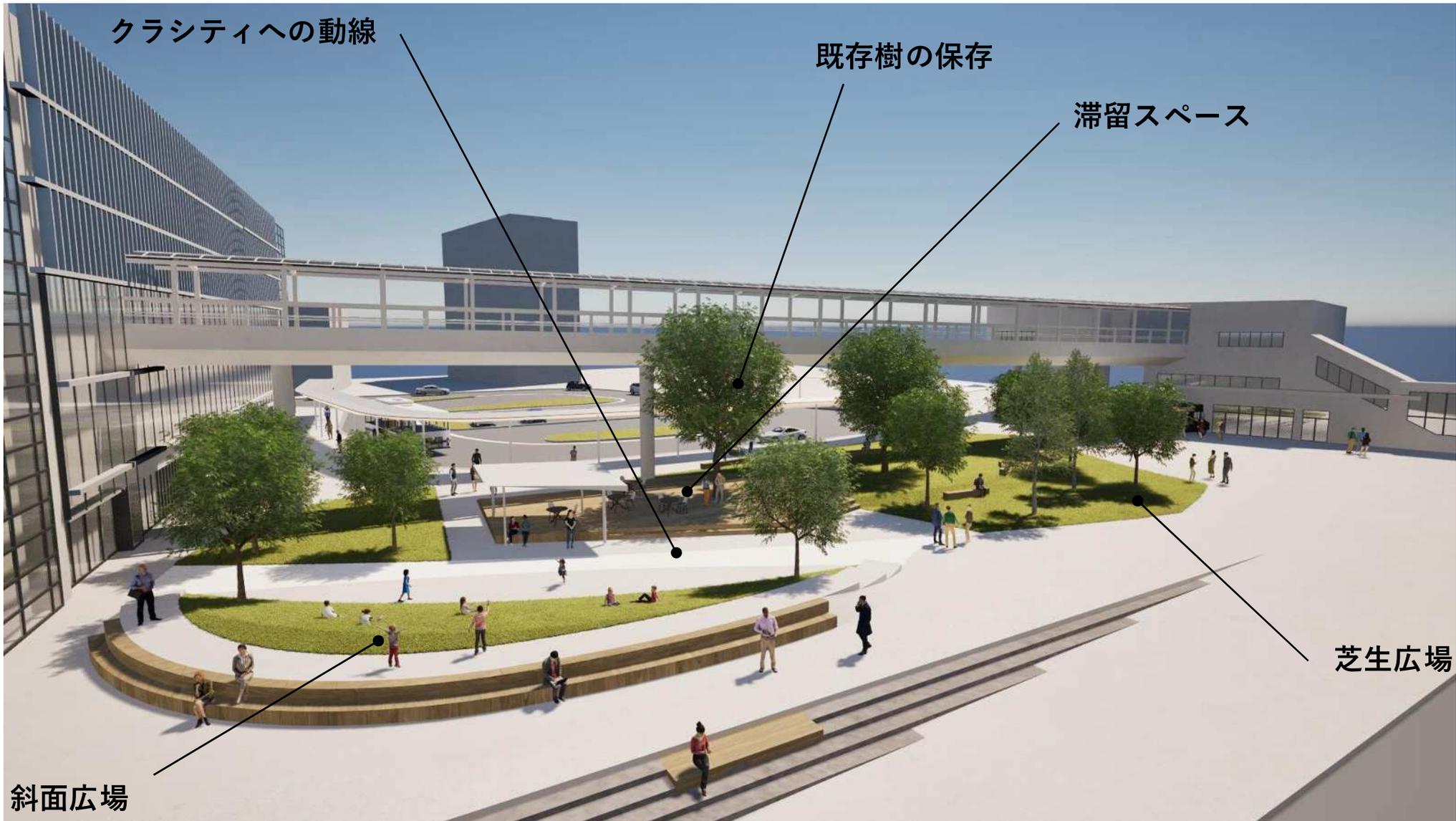
イベント広場

<日常時>



※今後変更になる場合があります。

基本設計案・イメージパース



※今後変更になる場合があります。